

お知らせ

平成12年1月5日
海洋科学技術センター
宇宙開発事業団

「H-IIロケット8号機」の第1段ロケットの3次調査開始について

海洋科学技術センター（理事長 平野拓也）及び宇宙開発事業団（理事長 内田勇夫）は、H-IIロケット8号機の第1段ロケットの3次調査の為、本日、14時25分、海洋科学技術センター所有の支援母船「なつしま」に、無人探査機「ドルフィン-3K」を搭載し、当センター専用岸壁を出港いたしました。

潜航調査は、2次調査にてエンジンなど確認された海底を、無人探査機「ドルフィン-3K」に搭載されているテレビカメラにより8日（土）から10日（月）まで撮影を実施する予定です。

なお、8日からの調査概要及び得られた静止画については、「なつしま」から送られてくる電子画像を準備ができ次第ホームページにて報告する予定です。

補足：前回の2次調査において、水深2,917mの海域にて「ディープ・トウ」に装備されているスチルカメラにより、撮影された第1段ロケットのメインエンジン部の写真ができあがりましたので、説明資料と供に公表させて戴きます。

問い合わせ先
海洋科学技術センター
普及・広報課 他谷（たや）、木村
TEL 0468-67-3806
宇宙開発事業団 広報室 福室、高橋
TEL 03-3438-6107